

## 「風邪」 病因、予防および治療

すべての産業において、病気による欠勤は深刻な経済問題です。10年間にわたるボストン エジソン社の最近の報告によると、病気による欠勤は、男性で 8.9 暦日、女性で 14 日でした。

男性の場合、病気による欠勤は事故の 12 倍であり、女性の欠勤の割合は 171 対 1 でした。呼吸器疾患は、男性の全日数の半分近くを占めていました。男性の 10 人中 4 人が、「風邪」のために 1 年間に時間を失った。

10 人の女性のうち 7 人が同じ原因で時間を失っていました。男性は年間 1.4 日、女性は年間 2.1 日風邪のために失われました。

この平均に基づくと、「風邪」によって引き起こされる経済的損失は、賃金だけでも、米国のすべての産業で数百万ドルであり、効率の低下、生産の減少、および生産の減少による損失も考慮すると、無効者の余分な支出、合計は莫大です。

「風邪」ほど文明化された人類にとって大きな関心を寄せている医学的テーマはありません。

南西部のアボリジニと過ごした長年の経験から、私たちが知っている風邪は文明の産物であると確信しています。

素人は、「風邪」という用語を使用して、医療関係者でさえ必ずしも区別できない多くの状態をカバーします。すなわち、急性鼻風邪。鼻炎; 咽頭炎; 喉頭炎; 気管支炎; ラ・グリッペ; インフルエンザ、時には扁桃炎などです。

### 研究は貧弱

風邪の病因に関する研究は不足していますが、風邪は細菌の 1 つまたはグループによる一次感染であるか、ろ過可能なウイルスによるものであるという理論を証明しようとする試みが行われています。

研究が行われていないのは、風邪は通常、かなり些細な出来事であり、治療にすぐには反応せず、自然経過をたどると考えられているためです。統計によると、私たちの大産業のほとんどで欠勤の約 45% が風邪またはその後遺症が原因であることが示されているためです。仕事を休まない場合でも、人の能率に重大な影響を与え、経済的にも大きな損失をもたらします。

「一般的な風邪」の一般的な定義は、「鼻および咽頭領域、または上気道の急性感染症」でした。

しかし、鼻腔、頬腔、咽頭腔に通常生息する多くの細菌のいずれかが風邪の原因であることを証明できた人は誰もおらず、細菌群が症状の原因であることも決定的に証明されていません。

風邪の感染源は証明されていない理論にすぎず、誤った前提に基づいた理論です。

風邪の初期段階では、鼻からの分泌物は常に無菌であり、通常、原因と見なされる微生物は二次的なものに過ぎないからです。

風邪の病因に関する別の理論は、1914 年に Kruse によってもたらされたる過可能なウイルスの理論ですが、この理論も 1924 年の Robertson と Graves による一連の実験を通じて支持できないことが明確に示されました。

1927 年 1 月号の「インターナショナル メディカル ダイジェスト」は次のように述べています。

風邪の細菌学に関する現在の知識を要約すると、病因と考えられる特定の生物はまだ見つかっていないと言わざるを得ません。鼻炎の特定の原因としての濾過可能なウイルスの可能性は興味深いですが、現在までのところ、事実としてそれを受け入れるには証拠があまりにも矛盾している。

風邪の原因を適切に解明するためには、上気道のバクテリアの研究よりも先に進めなければならないことがすぐに明らかになります。

それこそが私が風邪の研究で行ってきたことであり、上気道の細菌の研究を超えて、風邪の症候群が局所的な徴候に過ぎない全身障害を探している。

私は、風邪がほんの些細な出来事であり、主に上気道の急性感染症であることに完全に満足したことはありません。

過去 11 年間、私は風邪、その病因、治療を行った場合と行わなかった場合の経過、およびその後の結果または後遺症について集中的に研究してきました。

## 風邪は伝染しない

私が最初に反対したいのは、「風邪は急性感染症である」ということです。

私は、急性の風邪をひいた人の分泌物を、風邪をひいていない多くの人々に接種しようとする実験によって、これを反証することができました。

一般に感染症は潜伏期または初期段階で最も伝染性が高いため、接種には分泌物が最も豊富な時期を選びました。しかし、この実験で風邪をひいた例は一度もありませんでした。

風邪が急性感染症である場合、その起源または原因はほぼ常に確実に追跡できます。しかし、これはかなり難しいことであり、「どこかで風邪をひいたに違いない」という発言でオフになっているのが一般的です。

確かに、風邪は家族や、事務員が密接に関係しているオフィスを介して伝染しますが、これは、風邪が他の人との接触によって広がることを証明するものではありません。

これらの人々は、家庭でもオフィスでも、同じ非衛生的な環境条件にさらされており、これらの条件が、代謝の変化や、体のすべての体液や分泌物に影響を与える全身障害をもたらす要因となっています。

## 気候条件の影響

気候条件は常に何らかの形で風邪の原因とされてきました。

厳しい寒さ、湿気、強風、または急激な気温の変化を主な原因とする悪天候は、風邪の刺激的な原因または少なくとも一因と見なされることがよくあります。

風邪の発生率は、一般に、冬季および寒い天候下で大幅に増加します。多くの観察者は、寒冷な気候で風邪がより蔓延する理由を説明しようとしてきました。

最も頻繁に進められた理論は、寒さが自律神経系を介して熱を支配する中枢に及ぼす不穏な影響です。しかし、体温調節中枢の生理学的機能は、頻繁に変化する気候条件に生物を適応させることであり、健康状態では、その調節機能は容易には乱されません。

冬の間、私たちは太陽の紫外線の化学作用の効果の一部を失います。なぜなら、特に煙を含んだ場合、紫外線がより厚い大気層を通過する必要があるためです。光線に対するフィルターであり、主にそのカルシウム含有量またはカルシウム固定に影響を与え、血液に対するそれらの化学作用を実質的に減少させます。

気候変動は、私たちの通常の活動を阻害し、通常必要量を常に超えているタンパク質食品の利用を減少させる限り、一因となります。

私たちは寒い時期に食べ過ぎ、運動不足になります。暖かい気候では、高タンパク食品の摂取量が減り、運動量が増えるため、風邪の頻度が低くなります。私が数年間過ごした伐採キャンプでは、男たちはあらゆる種類の天候と氷点下の気温にさらされていましたが、特に風邪や呼吸器疾患はありませんでした。

私たちの業界で風邪の発生率が最も高いのは、月曜日、祝日の翌日、おいしいものがたくさんある宴会やパーティーの翌日です。

私はまた、巡回セールスマンや出張中の他の人たちに風邪が非常に蔓延していることも観察しました。

旅行中は、家にいるときと比べて日常生活に明らかな変化があり、過食しやすく、アルコール性刺激物を飲みすぎたり、精神的負担が増したり、排便が不規則になったり、適切な運動ができなかったり、睡眠が不足したりします。

疲労は、それがどのように獲得されたとしても、非常に重要な要因であり、その理由は、疲労によって生成される血液と組織の代謝が変化することです。

## 一般的な風邪の症状は何ですか？

それらは、攻撃の重大度によって異なります。中等度の重度のものでは、鼻風邪、鼻および咽頭の刺激、頭痛、筋肉痛、倦怠感、食欲不振、および倦怠感です。

これらは、2つの広く異なる全身性障害の症状でもあり、そのうちの1つは非常に蔓延し、頻繁に診断され、もう1つはかなりまれです。

11年間にわたる数千例の風邪の研究において、また、風邪をひかない人に急性風邪の分泌物を接種しようとして何度も失敗した後、私は、上気道に影響を与える急性風邪はそうではないことを完全に確信しています。主に感染症ですが、全身障害の症状症候群にすぎません。

さまざまな重症度の風邪の多くの症例が、実験室で注意深く研究されました。

尿の酸性度について観察しました。アルカリ蓄えの指標として血液の力を組み合わせました。血液のカルシウム含有量、糖含有量を決定するためのテストも行われました。非タンパク質窒素と基礎代謝のテストも含まれます。

尿の酸性度は常に正常値よりも高く、場合によっては80°(正常値は35°)にもなりました。すべてのケースで、血液の総合力であるCOは低く、最高で52%でした。血液の糖分は一般的に減少しました(100ccあたり100mg未満)。代謝率は常にマイナス側にありました。(これらの症例は、甲状腺活動障害の症状がないため、慎重に選択されました。)

## 調査結果の要約

血液化学に変化があり、その結果、血液によって供給される組織に変化がなければなりません。血漿および組織に含まれる重炭酸塩または貯蔵塩基が減少し、Sellard'sによって決定される重炭酸耐性の増加により、特にナトリウム塩およびカルシウム塩が減少します。

### 風邪

甲状腺の活動にも変化があり、代謝率の低下によって示されます。非タンパク質窒素のわずかな保持を伴う、血液の糖含有量のわずかな減少。鼻と喉の分泌物は通常よりもアルカリ性が低く、リトマス試験紙に対して明らかに酸性の反応を示すことがあります。

これらの調査結果は、風邪は全身障害の局所的な症状であるという結論への道を示しているようです。

すなわち、アルカリ性バランスの乱れ、言い換えれば軽度のアシドーシス、またはおそらくより適切に言えば、重炭酸塩含有量の減少による血漿の「緩衝」作用の減少です。

この結論は、完全なアルカリ化が常に風邪を中止して治すという治療によって強化されます。根本的な声明ですが、治療が完全であれば、真実です。

## アシドーシスの誘発

私は、塩化アンモニウムと塩化カルシウムの投与による人為的なアシドーシス（※体内に過剰な酸が発生すること）の誘導によって、単純な鼻風邪からラ・グリッペや「インフルエンザ」までさまざまな程度の風邪のすべての症状を誘発することができました。

症状の重症度は、誘発されたアシドーシスの程度と正比例していました。

より深刻なアシドーシスでは、微熱を含め、「インフルエンザ」のすべての古典的な症状が見られました。症状は、大量の重炭酸ナトリウム（※重曹）を経口および直腸から投与すると、急速に治まりました。

## 風邪の進行を止める治療

咽頭の乾燥やわずかな鼻炎、または鼻の粘膜のうっ血が始まり、尿がリトマス試験紙に対してアルカリ性になるまで、大量の重炭酸ナトリウムによってアルカリ化が開始されたときに病気が攻撃された場合、「風邪」はいつでも停止します。

私が通常60gで処方する重炭酸ナトリウムと一緒に。大きなコップ一杯のお湯を添えて、2時間ごとに3回、大人に1g与えます。

カルシジン（カルシウムとヨウ素の組み合わせ）を30分ごとに6回服用します。

ほとんどの風邪は、午後遅くまたは夕方に現れ始め、風邪の進行を止める治療は、この時点から就寝するまで行うのが最善です。

治療を受けるとき、通常の食事は省くか、牛乳とシリアル、またはスープで構成する必要があります。腸が便秘している場合は、下剤等で腸を動かしてはいけません。下の腸は石鹼の泡の浣腸で緩和する必要があります。

この治療法は、風邪の初期に服用すると、風邪を予防します。

かぜが嘔声と多量の鼻風邪の段階にまで進行した場合、またはこの状態が一般的に「風邪」と呼ばれる状態に進行した場合、私は次の治療法を使用します。

初回用量 60 g。炭酸水素ナトリウムと1g。カルシジン、次に30 g。炭酸水素ナトリウムと1g。カルシジンを2時間ごとに6回、その後20 g。重炭酸ナトリウムと3 g。

風邪がチェックされるまで、起床時に3時間ごとにカルシジン。重炭酸ナトリウムの投与は、常に大きなコップ一杯のお湯で行うか、その後に行う必要があります。

局所的に、鼻とのどに1～5000のメタフェン溶液または他のアルカリ溶液(水1ポイントに対して炭酸水素ナトリウム1ドラム)を朝晩スプレーします。

腸が便秘の場合、私は下剤を処方せず、石鹼の泡の浣腸を使用して下部腸を緩和します。

予防は、個人の身体活動に完全に適応し、バランスの取れた運動と食事によって維持するのが最善です。

## 結論

鼻炎、咽頭炎、喉頭炎、気管支炎、インフルエンザ、肺炎などの風邪とその後遺症は、一般的に病気は感染性であると考えられていますが、感染性ではありません。

アルカリの蓄えまたはバランス(酸の基本平衡)の乱れによるものです。障害の程度が深刻であるほど、病気はより深刻です。

軽度のアシドーシスを引き起こしたり、血漿の「緩衝」作用を妨げたりする条件は、風邪の原因となります。

バランスの悪い食事、運動不足、疲労、便秘、体のどこかの感染症などです。

風邪は、適切な食事、運動、および炭酸水素ナトリウムまたはアルカリ水を注意深く使用することによってアルカリバランスを維持することによって防ぐことができます。

風邪は、少量のヨウ素とカルシウムと一緒に、システムを完全にアルカリ化するのに十分な量の重炭酸ナトリウムを投与することによって進行を停止することができます。

風邪は、同じ薬を少量ずつ、頻繁に繰り返し投与することで治すことができます。